

11月

保健センターからの お知らせ



▶会場：保健センター ▶問い合わせ：役場健康推進課 ☎385-2111

予防接種

- 三種混合（1期初回）
11月15日(木)
午後1時30分～2時30分
対象…12年1月～5月生
 - ツベルクリン反応 12月4日(月)
午後1時30分～2時30分
対象…12年2月～8月生
 - BCG 12月6日(火)
午後1時30分～2時30分
対象…12年2月～8月生
- ※上記の予防接種は、対象年齢を過ぎているお子さんも接種可能です。

育児相談

11月7日(火)・21日(火)
いずれも午前9時30分～11時
子育ての悩みを一人で抱えこまず、保健婦等と話し合しましょう。

発達相談

会場は横越児童館
11月17日(金) 午前10時～11時
相談員が言葉や発達の遅れ等について相談に応じます。
※今回から、療育相談を発達相談という名称に変更しました。

健康相談

11月14日(火)
午前9時～11時30分
血圧・体脂肪測定等で健康の確認をしたり、健康づくりプランを相談したりします。また、病気等で心配のある人の相談に応じます。

乳幼児健診

- 乳児健診 11月29日(水)
午後1時～1時30分(受付)
対象…11年11月/12年4月・8月生
- 3歳児健診 11月27日(月)
午後1時～1時30分(受付)
対象…9年10月・11月生
- 幼児歯科健診 11月14日(火)
午後1時～1時20分(受付)
対象…8年5月・11月/9年5月/10年5月・11月生

機能訓練教室

11月10日(金)
午前10時～午後3時
対象…機能訓練教室参加登録者
※参加希望の方は健康推進課へ申し込みをしてください。

糖尿病教室(第2回目)

11月16日(木)
午前10時～午後3時
対象…糖尿病教室受講申し込みをした方
※受講希望の方は健康推進課へ申し込みをしてください。

女性セミナー(第3回目)

11月24日(金)
午前10時～午後3時30分
対象…女性セミナー受講申し込みをした方
※受講希望の方は健康推進課へ申し込みをしてください。

母子健康手帳交付

11月21日(火)
午後1時～1時30分(受付)
持参する物…妊娠届出書、印鑑、健康保険証、口座番号(医療費振込の為)
※歯科健診があります。

離乳食講習会

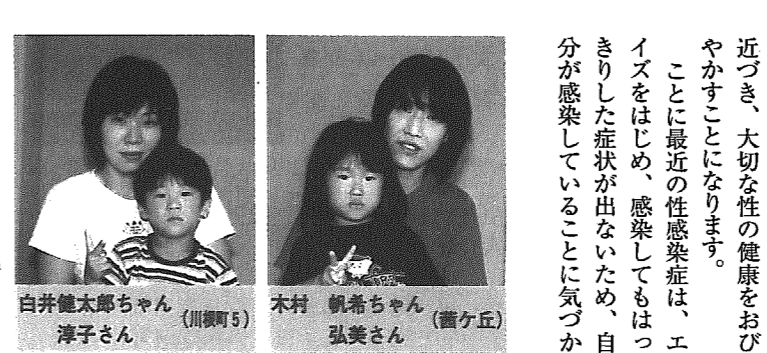
11月27日(月)
午前9時30分～11時
対象…12年6月・7月生

11月の休日当番医院

(診療時間 午前9時～午後5時)

日	当番医院	電話番号
3	清野医院 (亀田町四ツ興野5)	383-1333
5	こんの脳神経クリニック (亀田町泉町1)	383-1355
12	たなか整形外科 (横越町中央2)	383-2200
19	押木医院 (亀田町本町4)	381-2052
23	堀医院 (亀田町船戸山4)	382-3031
26	高橋耳鼻科 (亀田町元町3)	381-5840
12/3	横田医院 (亀田町袋津3)	381-2729

◎次の医院は、医師在院のときは、緊急を要する診療に応じます。
・亀田第一病院(亀田町西町2) ☎382-3111
・阿部医院(亀田町新明町5) ☎381-2045
・佐藤医院(亀田町下早通) ☎381-2878



このコーナーでは、3歳児健診で、むし歯のなかったお子さんと保護者の方を紹介しています。

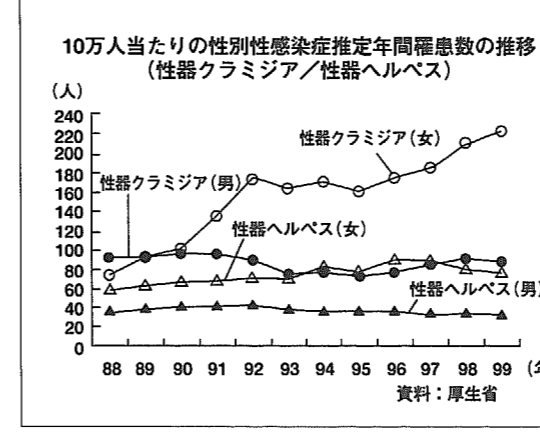
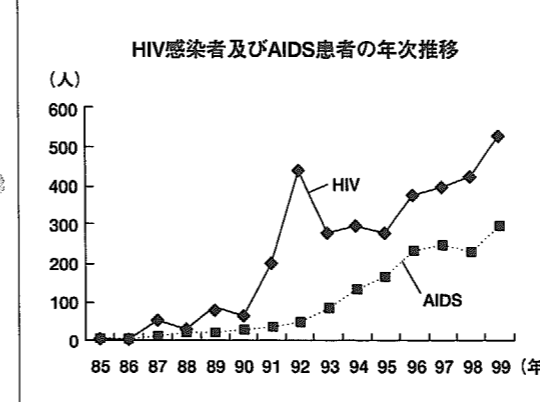
ほくも わたしも キラリツ子

健康シリーズ64

増加する性感染症 深刻な性の健康障害

何事にも「光と影」があるように、性(セックス)にも光と影があります。
若い人にとって、男女のふれあいはロマンチックに光り輝いているものでしょう。しかし、そこには、よほど注意をしないと、「望まない妊娠」「恐ろしい性感染症」の影がひそかに近づき、大切な性の健康をおびやかすこととなります。
ことに最近の性感染症は、エイズをはじめ、感染してもはっきりとした症状が出ないため、自分が感染していることに気づかずに、無自覚のまま相手にうつしてしまうことが少なくありません。
しかも、感染していることを知らないまま、治療をせずに放置していると、徐々に身体が蝕まれ、とり返しつかない「深刻な性の健康障害」に陥ってしまいます。「性あるところに感染あり」と言われるほどに、現在は、日常の性行動の中に性感染症が入り込んできています。よく言われる「遊んでいる人の病気」ではなく、誰がかかってもし、日常の性行動の中に性感染症が入り込んできています。よく言われる「遊んでいる人の病気」ではなく、誰がかかってもし、日常の性行動の中に性感染症が入り込んできています。

現在一番ひろがっているクラミジア感染症は、一般女性でも15～19歳で4・3%、(23・5人に1人)、20～24歳で6・7% (15人に1人) が、無自覚のうちに感染していると推定され、全国では86万人が感染していると推定されています。
「自分はそんな不



潔な感染症とは関係ない」と安心してはいられないのが現実です。「性感染症は一部の人のもの」ということは、もはや「偏見」と言わざるを得ないほどに広がっているのです。
自分やパートナーの性の健康を守るために、正しくコンドームを使い、そして互いを思いやるマナーや習慣を身に付けるければ、とり返しつかないこととなります。
これらの病気から身を守る方法を知り、行動ができることは、



性の光
パートナーとのいい関係
結婚、妊娠、出産



自分だけでなく、あなたの愛する人やあなたの子どもにとっても大切なことです。